

かすがい



市議会
だより

令和7年 第4回定例会 (9月5日～9月29日)

第**136**号
2025年(令和7年)11月

もくじ

| | |
|---------|---|
| 議案の概要 | 2 |
| 委員会審査報告 | 3 |
| 一般質問 | 5 |

表紙写真募集中 詳しくは8ページへ



「ほかほかしい天気」

暖かくよく晴れた日に二子山公園に遊びに行った時の写真です。
芝生の上をはいはいで進み、草だらけになりながら全身で自然を満喫している息子です。

撮影者: 國枝 綾華 撮影場所: 二子山公園

議案の概要

第4回定例会では、令和6年度決算11件、令和7年度補正予算案5件、条例案3件、一般議案3件、報告12件、人事案件1件、議員提出議案3件、請願2件が提出されました。(議案の中から一部ピックアップして掲載しています。)

土木費

96億8534万円(構成比7.7%)

道路橋りょう費…14億1837万円 など
・民間建築物耐震事業 などを実施

商工費

53億3492万円(構成比4.2%)

・新たな事業の創出と事業者の成長促進 などを実施

教育費

140億7011万円(構成比11.0%)

小学校費……42億4199万円
中学校費……16億1815万円 など
・校舎等リニューアル事業
・鷹来公民館小工事 などを実施

総務費

114億4387万円(構成比9.1%)

徴税費……9億8017万円 など
・デジタル化推進 などを実施

一般会計歳出の主なもの

民生費

580億1777万円(構成比46.2%)

生活困窮者自立支援……………4186万円
障がい者等介護給付等……………74億8163万円
障がい児通所支援等給付……………28億3413万円
子ども医療費……………18億9834万円
生活保護費……………53億2783万円など
・ひきこもり支援と就労準備支援の一体的実施事業
・かすがいいいききポイント事業
・学習支援事業の拡充
・こんにちは赤ちゃん訪問 などを実施

衛生費

156億3638万円(構成比12.5%)

保健衛生費…57億2550万円
清掃費……………95億7874万円など
・感染症予防対策 ・資源分別収集
・クリーンセンター施設再整備 などを実施

実質収支は約3億4800万円の黒字。歳入は前年度比77%増。定額減税により個人市民税は減収でしたが、特例交付金で補填されています。国庫支出金、諸収入、地方特例交付金及び地方交付税が増加。歳出は前年度比73%の増です。

令和6年度 一般会計決算
認定第1号

認定

消防費

28億8277万円
(構成比2.3%)

農林水産業費
2億8757万円
(構成比0.2%)

認定第2～8号

令和6年度 特別会計決算

認定

いずれの会計も収支均衡か、黒字の決算です。

国民健康保険の保険料収入は税率改定の影響により、1億5015万円の増収。後期高齢者医療の保険料収入は改定等の影響により7億9059万円の増収。介護保険の保険料収入は、保険料値下げの影響で1億2901万円の減収でした。

- ◆公共用地先行取得事業
- ◆国民健康保険事業
- ◆後期高齢者医療事業
- ◆介護保険事業
- ◆民家防音事業
- ◆春日井インター北企業用地整備事業
- ◆潮見坂平和公園事業

認定第9～11号

令和6年度 企業会計決算

認定

市民病院は、手術支援ロボットを使用した手術を泌尿器科、産婦人科、外科の3つの診療科で開始。5月には心臓病センターを開設。診療単価の上昇などにより医業収益は増加したものの、人事院勧告に伴う給与改定による給与費の増加や高額な診療材料の使用量の増加による材料費の増加などにより医業費用が増加し、9億9743万円の赤字です。

- ◆水道事業
- ◆市民病院事業
- ◆下水道事業

第73号議案

令和7年度一般会計補正予算
(第4号)

可決

補正額 13億1518万円

食材費高騰への支援として、私立保育所等に一定期間児童一人1食あたり100円の食費の補助を行います。

リチウムイオン電池等の誤排出等による焼却炉等の火災事故を防ぐため、発火性危険物用指定ごみ袋を全戸配付します。

小学校13校の理科室等への空調設備整備を1年前倒しで実施することとなり、その経費を計上します。

第76号議案

春日井インター北企業用地整備
事業特別会計補正予算(第1号)

可決

補正額 5億4309万円

購入できる見込みの立った用地の購入費用や、工事費高騰に対応するため設計を見直す費用を計上しました。

※決算額・補正額は、1万円未満を切り捨てて表示しています。

人事案件

【公平委員会委員】

藤川 誠一



委員会審査報告

議案は委員会に付託され、詳細な審査が行われます。
ここでは審査内容の一部を掲載します。

総務委員会・分科会 9月17日開催

認定第1号(分科会)

Q DX人材とは? DX人材教育研修の内容と目的は?

A DX人材とは「行政と市民の視点を持ち、論理的思考力とデータに基づく客観的な判断力を持つ人材」

→内容/目的

- ①DX推進基礎リテラシー習得研修/データの活用の知識
- ②EBPM実践研修/データに基づく政策立案能力の向上
- ③サービスデザイン思考形成研修/ニーズの把握と改善手法

Q 消防職員研修事業費 1,422万2,000円の主な内訳について

A 主なものは以下の通りです

- ・救急救命士の内部養成: 約400万円
- ・気管挿管救命士の養成: 96万円
- ・新規採用職員の初任教育と専科教育: 約364万円
- ・研修の旅費: 約108万円
- ・救助技術大会の需用費: 約87万円
- ・大型自動車免許の取得支援: 165万円

Q 経常収支比率が98.2%と3年連続で上昇の要因と今後の見通しと取組について

A 県内37市では最高値(名古屋市を除く)

【要因】人件費や社会保障関連費用の増加

【見通】高い比率が続く見込み

【取組】効率的な事業推進や新たな財源確保

◆審査した案件

第73号議案、第82号議案、認定第1号、認定第2号

市民経済委員会・分科会 9月11日開催

認定第1号(分科会)

Q 市民納涼まつりについて、令和6年度は花火に代えてスカイランタンを実施したが、委託料は1,700万円であった。その際の協賛金額と、混雑防止や火災対策の要員配置はどうだったのか。

A 令和6年度の協賛金収入は1,271万6,000円で前年より約840万円減。納涼まつりの運営人数は445人で、前年より120人減少した。

Q 女性のつながりサポート事業の「親子ひろば」とは、どのような事業か。

A 「親子ひろば」は、孤立や不安を抱える子育て世代の女性のため、月1回親子で参加できる居場所として開催され、相談窓口や関係機関につなぐほか、希望者には運営ボランティアの機会も提供している。

Q 令和6年度の奨学金返還支援補助は7件11人、計73万8,000円が交付された。その概要を問うとともに、県の「あいち奨学金返還支援ネット」には市内約10社が登録しているが未掲載の企業も多い。就活生の利便性や企業のPR効果を踏まえ、市として登録を促すべきではないか。

A 本市の補助金は、市内中小企業が春日井在住従業員に行う奨学金返還支援を補助し、人材確保と負担軽減を目的としている。周知は有用と考え、事業者の意向を尊重しつつ、市HPやPR事業で登録・情報発信に努めていく。

◆審査した案件

請願第4号、第73号議案、第74号議案、第76号議案、認定第1号、認定第3号、認定第4号、認定第7号

福祉教育委員会・分科会 9月12日開催

第73号議案(分科会)

Q 私立保育園等の給食材料費高騰対策の補助要件を問う。

A 給食費値上げ後に返還・値下げ等で実質的に保護者負担を増やさない対応があれば補助対象とする。

認定第1号(分科会)

Q 学校給食費軽減に充てた臨時交付金の額を問う。

A 2億328万1,000円。

Q 物価高騰関連給付のうち高齢者のみ世帯の割合等を問う。

A 令和5年度63.04%(2万637世帯)、6年度34.11%(1,640世帯)、臨時給付63.83%(1万8,424世帯)。

Q 妊産婦ケアの周知方法を問う。

A 母子健康手帳交付時および助産師・保健師の訪問時に個別案内。転入者・日本語に不安のある方への配慮実施。

認定第5号(分科会)

Q ハートフルパーキングの提供駐車場確保の取組を問う。

A チラシの戸別配付・広報・市HP掲出による周知と募集の継続方針。

認定第9号(分科会)

Q 市民病院の経営状況と損失要因を問う。

A 令和6年度純損失約9億9700万円。給与費・材料費・控除対象外消費税の増などによる経常損失拡大。

◆審査した案件

請願第3号、第73号議案、第75号議案、第78号議案、第79号議案、認定第1号、認定第5号、認定第9号

環境建設委員会・分科会 9月16日開催

第80号議案(委員会)

Q 市内の築40年以上の分譲マンションの棟数を問う。

A 令和6年末時点で築40年以上の分譲マンションの棟数は、339棟です。

第73号議案(分科会)

Q 発火性危険物用指定袋配付の内容と金額の内訳について問う。

A 10ℓサイズの赤色指定袋を広報春日井4月号に合わせ全戸配付する予定であり、金額の内訳は、周知啓発チラシ印刷75万9千円、指定袋調達742万5千円、配達委託料770万円です。

認定第1号(分科会)

Q コミュニティ住宅の現在の利用状況について問う。

A 従前居住者76戸のほか、空き室を利用した市営住宅扱いが15戸、一般賃貸住宅が30戸です。

認定第8号(分科会)

Q 令和6年度の一般墓所の貸付、返還、空き区画数および、合葬墓地の募集数と許可件数は。

A 貸付48区画、返還251区画、空き1,838区画であり、募集数は、個別埋葬施設で100体、共同埋葬施設で1,200体、許可件数は、個別61件、共同833件です。

◆審査した案件

第73号議案、第77号議案、第80号議案、第81号議案、認定第1号、認定第6号、認定第8号、認定第10号、認定第11号

議員提出第7号議案

物価高騰等に見合った医療機関への支援を求める意見書

可決

医療機関の経営は、人件費の増加や物価高騰の影響により費用が大きく増加。診療報酬では費用の増加分を賄うことができず、多くの自治体病院は経常収支がマイナスとなっている。自治体病院は地域医療の中核病院として、救急搬送患者を受け入れ採算性が低い政策医療を担っている。以下の事項について要望する。

1 診療報酬の改定に際し、物価高騰等に見合った報酬改定、緊急的な財政支援など、必要な措置を講ずること。

議員提出第8号議案

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

可決

いじめや不登校など教育課題は依然として解決されていない。一人ひとりに応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できない。すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うためにも定数改善計画の早期策定・実施が不可欠。義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたまま。定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持、国庫負担率2分の1への復元にむけ、十分な教育予算確保を強く要望する。

※両意見書は要約して掲載しています。
※両意見書は関係機関に送付しました。

◆議案等の議決結果
議案

| 議決結果 | 議案番号 | 件名 |
|------------|-----------|--|
| 決算 11 件 | | |
| 認定(多数) | 認定第1号 | 令和6年度一般会計歳入歳出決算 |
| 認定(全員) | 認定第2号 | 令和6年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(多数) | 認定第3号 | 令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(多数) | 認定第4号 | 令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(全員) | 認定第5号 | 令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(全員) | 認定第6号 | 令和6年度民家防音事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(多数) | 認定第7号 | 令和6年度春日井インター北企業用地整備事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(全員) | 認定第8号 | 令和6年度潮見坂平和公園事業特別会計歳入歳出決算 |
| 認定(全員) | 認定第9号 | 令和6年度春日井市民病院事業会計決算 |
| 認定(全員) | 認定第10号 | 令和6年度水道事業会計決算 |
| 認定(全員) | 認定第11号 | 令和6年度公共下水道事業会計決算 |
| 補正予算案 5 件 | | |
| 可決(多数) | 第73号議案 | 令和7年度一般会計補正予算(第4号) |
| 可決(全員) | 第74号議案 | 令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) |
| 可決(全員) | 第75号議案 | 令和7年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| 可決(多数) | 第76号議案 | 令和7年度春日井インター北企業用地整備事業特別会計補正予算(第1号) |
| 可決(全員) | 第77号議案 | 令和7年度公共下水道事業会計補正予算(第2号) |
| 条例案 3 件 | | |
| 可決(全員) | 第78号議案 | 福祉作業所条例の一部を改正する条例 |
| 可決(全員) | 第79号議案 | 市立郷土館の設置および管理に関する条例を廃止する条例 |
| 可決(全員) | 第80号議案 | 手数料条例の一部を改正する条例 |
| 一般議案 3 件 | | |
| 可決(全員) | 第81号議案 | 令和6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 |
| 可決(全員) | 第82号議案 | 訴えの提起 |
| 可決(全員) | 第83号議案 | 損害賠償の額の決定 |
| 人事案件 1 件 | | |
| 同意(全員) | 第84号議案 | 公平委員会委員の選任の同意 |
| 議員提出議案 3 件 | | |
| 可決(全員) | 議員提出第6号議案 | 市議会会議規則の一部を改正する規則 |
| 可決(多数) | 議員提出第7号議案 | 物価高騰等に見合った医療機関への支援を求める意見書 |
| 可決(全員) | 議員提出第8号議案 | 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 |

請願

| 議決結果 | 請願番号 | 請願名 |
|------|-------|--|
| 採 択 | 請願第3号 | 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書 |
| 不採択 | 請願第4号 | 外国人による国民健康保険料等の未納・滞納対策を求める意見書の提出を求める請願書 |

◆議案等の表決結果

| 会 派 名 | | 自由クラブ | | | | | かすがい創政会 | | | | | 春日井市民クラブ | | | | 公明党 | | | | 市民クラブ | | | | 共産党 | | 無会派 | | | | | | |
|----------|--|-------|----|-----|----|----|---------|----|----|----|----|----------|----|----|-----|-----|----|-----|----|-------|----|----|-----|-----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| 氏 名 | | 金澤 | 前田 | 梶田 | 加納 | 林 | 友松 | 鈴木 | 安達 | 鈴木 | 加藤 | 鬼頭 | 梶田 | 堀尾 | 長谷川 | 長縄 | 大村 | 日比野 | 石飛 | 田口 | 鈴木 | 伊藤 | 村上 | 小原 | 石田 | 原田 | 伊藤 | 長谷 | 奥村 | 鈴木 | 小嶋 | 犬塚 |
| 議案等番号 | | 陽貴 | 学 | 高由 | 満 | 克巳 | 孝雄 | 貴之 | 保子 | 秀尚 | 貴章 | 宏明 | 正直 | 国大 | 達也 | 典夫 | 勝人 | 成利 | 厚治 | 佳子 | 宏幸 | 杏奈 | 慎二郎 | 哉 | 裕信 | 祐治 | 建治 | 和哉 | 昇次 | 昭紀 | 小百合 | 貴司 |
| 請願第 4 号 | | × | × | 議 長 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | |
| 第 73 号議案 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第 76 号議案 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第1号 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第 3 号 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第 4 号 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第 7 号 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議提第 7 号 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | |

※賛否の分かれた案件のみ掲載しています。 ※「○」…賛成、「×」…反対、「－」…除斥、「退」…退場、「欠」…欠席の意味です。
※共産党＝日本共産党春日井市議会議員団の略です。 ※議長は表決に参加しません。 令和7年9月29日現在

一般質問

今回の定例会では、16人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、30項目の質問を行いました。



道風くん

市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

質問の様子を録画(YouTube)でご覧いただけます。

1 高蔵寺駅再整備のエスカレーター非設置へ変更した件について

質問者 無会派 奥村 昇次

担当 ニュータウン創生課

録画 ▶



【質問】昨年石黒市長の記者会見で駅計画にエスカレーター設置が明示、今年8月提示の計画ではそれが無くなった。理由はバリアフリー経路確保等で、エレベーターを優先した説明だが、昨年の提示計画では、エレベーター2基とエスカレーター2基の追加設置が計画されていた、今年8月提示の計画でエスカレーター2基を急遽無くした理由を問う。

【答弁】令和6年度の基本設計において、歩行に不安のある方なども安全に利用できるバリアフリー経路確保のためエレベーター設置を優先し、一般車とタクシーバースへエレベーターを2基増設する計画としました。また、関係機関協議の中で、バスバースの形状などの変更により、エレベーター、エスカレーターと階段の3施設を同じバースに設置困難となったため、停電時の非常時利用など、総合的観点からバース毎に階段の設置を計画したものです。



2 ゼロカーボンシティかすがい宣言に関する取組みについて

質問者 無会派 はせ かずや

担当 環境政策課

録画 ▶



【質問】令和3年7月から二酸化炭素発生がないカーボンフリー電力を新電力会社と協定を結び活用している本市だが、その成果内容について、また来年1月電力需給契約更新時にウクライナ紛争や中東情勢からエネルギー供給リスクを考慮し新たな契約をどう考えてゆくのか、地球温暖化対策の新たな取組みであるJ-クレジット制度の内容と本市メリットについて伺う。

【答弁】カーボンフリー電力の活用により、市の事務事業で発生する二酸化炭素排出量を令和5年度までに37,106t削減しました。なお、次期契約もこの電力の活用を継続しますが、安定的な電力供給を考慮して契約期間は1年としていく予定です。また、今後進めるJ-クレジット制度については、市が削減した二酸化炭素排出量をクレジットとして市内企業等に販売していくもので、その収益を新たな地球温暖化対策費などに活用できます。



3 行政手続きの簡素化

質問者 自由クラブ まえだ 学

担当 戸籍住民課

録画 ▶



【質問】昨今、お悔やみの手続きが煩雑であるとの声をよく耳にします。市民の皆様の負担軽減のため、手続きをワンストップで行える、「お悔やみ窓口」の設置の考えはないか、また、本市において、高齢化が進んでいく中、来庁することが困難な市民が増加すると予測されるため、DXの活用により、行かない窓口の実現に向け環境整備に取り組む考えはないか伺います。

【答弁】「お悔やみ窓口」は、プライバシーを十分に保護できるスペースが必要であることや様々なシステムを一括管理する必要があること、また、対応する職員にも限りがあり、手続きに時間がかかる場合は、待ち時間が長くなることも想定されるため、現時点では設置する考えはありません。なお、今後は、様々な申請や届出などのオンライン化をさらに拡充していくなど、「行かない」「書かない」「待たない」窓口を推進し、さらなる市民サービスの向上を目指していきます。

【その他の質問事項】 ■地域公共交通の整備

4 戦後80年・被爆80年に際して

質問者 無会派 小嶋 小百合

担当 総務課

録画 ▶



【質問】8月4日に行われた平和祈念式典で市長は春日井市を代表して平和に対する思いを語られましたが、市のホームページを見ても、戦後80年・被爆80年の談話やメッセージは見当たりません。これでは、平和祈念式典に参列されなかった市民の皆さまには市長の思いが伝わりません。市長の平和への思いを、核兵器に対する考えを含めて市民に向けてお話しください。

【答弁】先の春日井市平和祈念式典では、戦後80年の節目に、過去の戦争において犠牲となられた方々に追悼の意を表するとともに、あらためて戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、戦争の悲惨さ、復興に尽力した歩み、そして平和の尊さを次の世代に継承する責務を果たしていく必要があると私の考えを述べさせていただきました。核兵器のない世界の実現と恒久平和の実現は誰しもが願う共通の想いであると考えています。

【その他の質問事項】 ■市役所内イベントの周知方法改善要求
■ろう者・ろう者以外の人が共生できる春日井市の実現に向けて
■盲導犬拒否のホテルプラザ勝川は違法ではないか

5 市役所の利便性向上について

質問者 公明党 いしとび 厚治

【質問】本市では、「行かない・書かない・待たない」窓口の実現に向け様々な取組を開始している。ただ、案内表示の配置やデザイン、情報伝達方法に改善の余地がある。また、併せて重要になるのが「そもそも市役所に行かなくて済む仕組み」である。そこで①わかりやすい案内表示②手続きのオンライン化の二つの視点から、市役所の利便性向上について問う。

担当 総務課、デジタル推進課

録画 ▶



【答弁】①これまでも、正面玄関の案内表示のライトアップや掲示物の整理・集約によるわかりやすさの向上、翻訳機の設置等に努めてきましたが、今後は、多機能モニターなどの設置について検討していきます。②オンライン化されていない手続きについての実態調査を進め、市民の皆様にとって利便性が高く、職員にとっても業務効率の向上につながると判断したことから、順次オンライン化を進めていきます。



6 多文化共生のさらなる推進について

質問者 公明党 大村 まさと

【質問】本市における外国人住民数は年々増加しており、言語の壁や生活習慣の違いから誤解や摩擦が生じる例も少なくない。そのため本市では、国際交流ルームや市民団体の多様な支援が展開されているが、それに加えて専門的な知識と経験を持つ「多文化共生コーディネーター」を配置することにより、より包括的な支援体制が構築できると考えるが本市の見解を問う。

担当 多様性社会推進課

録画 ▶



【答弁】本市では国際交流ルームにおいて、市民活動団体に所属の外国語を話せるスタッフが生活に密着した幅広い相談業務を行っています。市内の外国人は増加傾向にあり、今後も地域社会において日本人との共生が重要であると認識しています。こうしたことから引き続き国際交流ルームの活用を周知するとともに、愛知県を通じ「あいち地域多文化コーディネーター」に登録されている人材の活用について調査研究していきます。

【その他の質問事項】 ■地域コミュニティの未来を見据えた運営のデジタル化について

7 西・北消防署 統合移転計画について

質問者 公明党 日比野 なるとし

【質問】西出張所（1970年）と北出張所（1981年）の老朽化を受け、市は四ツ家地区に両出張所を統合整備する方針を示している。当初の2027年4月供用開始は、県道・春日井各務原線（四ツ家工区）の整備進捗に依存し、現時点で当初予定の供用開始は困難な状況。計画遅延の認識と要因、運用・設備・市民サービスへの影響、ならびに市民への情報提供の在り方を問う。

担当 消防総務課

録画 ▶



【答弁】統合整備については、はしご車などの大型自動車を配備予定のため、周辺道路の整備や交通状況などを注視し、地域の皆様の理解を得ながら安全な出動体制が確保できる時期に進めていきます。西、北出張所は近日中に使用不能とはなりません。老朽化対策を必要最小限の修繕で対応しつつ、出動体制に万全を期しています。なお、計画の進捗状況は、必要に応じて市ホームページなどで周知し、説明会を開催していきます。

【その他の質問事項】 ■小学校における熱中症対策としての冷凍庫・冷蔵庫整備について

8 公共交通の地域連携の在り方について

質問者 かすがい創政会 安達 保子

【質問】市境に住む市民から移動手段への不安の声がある。市内どこに住んでいても生活に不安なく安心して暮らせる移動手段の提供は行政の役割と考える。今後、更に進む高齢化社会に備え令和8年度地域公共交通計画の改定に向け、他の自治体と連携し共同バス路線の検討やバスの利便性向上の推進を求める。地域連携の現在の状況と今後について市の見解を問う。

担当 都市政策課

録画 ▶



【答弁】近隣自治体との連携については、小牧巡回バスと北部オンデマンドバスが乗り継ぎできるようなバス停を設け、名古屋市のゆとりーとラインがJR高蔵寺駅まで運行するなど、利便性向上が図られています。近隣自治体と連携した公共交通の構築については、利用者ニーズはもとより、近隣自治体の公共交通に対する考え方のほか、既存の路線バスとの役割分担など、関係機関と慎重に検討する必要があると考えています。



9 春日井市史発行について

質問者 春日井自民クラブ かじた 正直

【質問】春日井市史は市民が心待ちにしていた市町村史であるが、誤りの多さと資料編不在により、公的市町村史として信頼を損ねます。過去から受け継いだ歴史を正確に未来へ引き継がなくてはならない使命があるため、速やかな訂正、公的に検証可能な資料編の整備、デジタル版市史の作成について、市はどのように考えているのかを問う。

担当 企画政策課

録画 ▶



【答弁】内容の誤りや訂正に関する意見は、随時、受付しており、編集委員会で訂正の必要があると認められた内容は、正誤表を作成します。資料編は、本編にグラフや表、写真をできるだけ掲載しているため、作成は予定していませんが、収集した資料などは、確実に保存していきます。市史のデジタル版は、公開の準備を進めています。



10 防犯対策への支援について

質問者 かすがい創政会 鈴木 秀尚

【質問】愛知県の令和6年中の自動車盗の件数は全国ワースト1位、住宅対象侵入盗は全国ワースト2位となっており、これらに対する早急な対策が求められている。①本市の令和6年中の自動車盗と住宅対象侵入盗の件数と前年比、県内順位について問う。②市がこれまで実施してきた施策に加え、新たに家庭用防犯カメラへの設置補助制度を創設してはと考えるがどうか。

担当 市民安全課

【答弁】①本市の令和6年中の自動車盗は40件で、前年から16件増加し、県内でワースト2位です。住宅対象侵入盗は50件で、前年から8件増加し、県内でワースト4位です。②家庭用防犯カメラの設置促進を行うことは、各家庭の防犯力を高めるとともに、地域社会の構成員がお互いを見守る「地域の目」を代替・補完する効果も期待できることから、設置補助制度の創設について検討していきます。

録画 ▶



11 子どもの安全を守る教育環境づくりと『生きる教育』の導入について

質問者 市民クラブ 伊藤 あんな

【質問】教師による盗撮事件は非常に深刻で看過できない問題です①事件を受け本市はどのような対応をしたか②盗撮問題を解決するには防犯カメラの設置が必要だと考えるが設置について③自分の身は自分で守り嫌なことは嫌と言える力を身につける必要がありそのためには「生きる教育」を参考にした包括的な性教育を推進していくべきと考えるがそれぞれ考えを問う。

担当 教育総務課、学校教育課

【答弁】①児童生徒への盗撮行為・わいせつ行為撲滅のためのガイドラインを作成し、各学校への指導を徹底しました。併せて、教室等の定期点検を指示し、取組を保護者へ周知しました。また、不祥事防止のための研修会を実施しました。②盗撮の抑止を期待できる一方、子どもたちを萎縮させる懸念があるため、設置については、国の議論や他自治体の取組を注視し慎重に検討していきます。③養護教諭が行う「いのちの学習」等で適切に性教育を行っていますが、指導計画を精査する際の参考とします。

録画 ▶



12 書のまち春日井のこれから

質問者 かすがい創政会 鈴木 たかゆき

【質問】本市のイメージアップのために「書のまち春日井」を長きに渡り掲げているが、市民の誇りに繋がらずらい現状がある。誰に向けての何を目的としたプロモーションなのか、再度PR方法を考える必要があるのでは？また、財政が厳しい中、老朽化した道風記念館の大規模改修の検討をどのように行うのか、教えてください。

担当 文化スポーツ振興課

【答弁】本市は小野道風公生誕地としての伝承があり「書のまち春日井」を標榜し、書道文化の振興と市のイメージアップに努めてきました。こうした取組は市民が書を身近に感じることで、郷土への愛着を育むことと、市民以外の方には、書道文化を本市の魅力として発信することを目的としています。市公共施設個別施設計画は、2026年度に全面改定を予定しており、道風記念館の今後の計画についても、現在検討を進めています。

録画 ▶



13 学校へいけない子どもの支援について

質問者 日本共産党 伊藤 建治

【質問】フリースクールであるがままの自分を取り戻し元気になる子どもがたくさんいる。経済的な理由で利用を我慢する家庭もある。①利用費助成を行う自治体も増えている。春日井市で実施する考えはないか。②不登校に寄り添うために介護休業が使える。③教育支援センターやフリースクールなどを利用する際の交通費に通学定期券が使える。②③を周知してほしい。

担当 学校教育課

【答弁】①不登校対策では、まずは登校支援室を始めとする多様な支援の取組に注力し、一人でも多くの子どもたちが学校に通うことができるようにしていくことが重要だと考えており、フリースクールなどの民間施設に通う子どもたちへの利用料の補助は、現在のところ考えていませんが、引き続き、国の動向や他自治体の状況を注視していきます。②③市ホームページにおいて情報発信をしていきます。

録画 ▶



【その他の質問事項】 ■勝川開発株式会社について ■指定管理について ■リニア中央新幹線工事について

14 不妊治療について

質問者 日本共産党 石田 裕信

【質問】少子化の進行が大きな課題となる中、不妊治療を受ける夫婦が増えている。2022年度から公的医療保険の対象となったことから市は不妊治療への助成を終了しているが、多くの自治体が助成を継続しており、保険適用外の43歳以上の方も対象とするところもある。不妊治療の助成を復活させ、43歳以上の保険適用外となる治療にも助成を行ってはどうか問う。

担当 こども家庭支援課

【答弁】不妊治療の保険適用が拡大し、公費負担による費用軽減がすでに図られていることから、保険診療分の自己負担額に対し市独自の助成をする考えは、現時点ではありません。また、保険適用の対象となる治療については、国が医学的知見を踏まえて有効性・安全性を確認し、年齢や回数の要件を定めているものであることから、保険適用の対象外とされた治療について、市独自の助成をする考えは、現時点ではありません。

録画 ▶



【その他の質問事項】 ■OTC類似薬の保険適用除外について ■国民健康保険行政について ■後期高齢者医療保険料の滞納に対する対応について

15 補聴器購入費用の補助について

質問者 日本共産党 原田 祐治

担当 障がい福祉課

録画 ▶



【質問】聴覚障がいにならない軽度・中等度の難聴者も、日常の会話が聞き取りにくいなど生活に支障の出る場面がある。難聴の人にとって補聴器が役に立つが、軽度・中等度難聴で補聴器の購入費用に補助があるのは18歳未満と65歳以上の人のみ。補助制度が何もない18歳から64歳までの軽度・中等度難聴者への補聴器の購入費用を補助する考えはないか問う。

【答弁】軽度・中等度難聴者の方について、18歳未満は言語獲得等、65歳以上は認知症予防の観点から、購入費用の一部を補助しています。18歳から64歳までの軽度・中等度難聴者の方への補聴器購入費用の補助については、令和7年4月1日現在、県内では豊田市、小牧市など一部の市町でのみ実施されている状況であり、引き続き、他自治体の実施状況や国の動向を踏まえながら、必要な調査研究を行っていきます。

【その他の質問事項】 ■市営住宅について
■平和事業について

16 許可のない造成行為に対する行政の対応について

質問者 市民クラブ 村上 しんじろう

担当 建築指導課

録画 ▶



【質問】令和6年6月頃から、神屋町内の山林で許可もなく山林ごとなくなるまで造成行為が進んでいる。地域から市に対して対処するよう要望書が提出されるなど、近隣住民は大変な不安を抱える状況にあるが、未だ工事が進んでいる。①行政としてどのような対応を行ってきたのか②今後事業者に対し是正命令や工事停止命令等を行う必要があると考えるが見解を問う。

【答弁】①現地調査等により状況を把握し、造成行為の目的に応じた許可を得てから工事を行うよう、事業者に対し文書及び口頭による行政指導を粘り強く続けた結果、今年6月に許可申請書が提出され、8月に許可をしました。②今後も違反に対しては、速やかに是正措置を行うよう粘り強く行政指導を行うとともに、悪質な行為については法に基づく命令などの行政処分を視野に入れて対応します。



委員会開催状況

令和7年第3回定例会閉会後に行われた委員会は、次のとおりでした。

- 市民経済委員会（8月19日）
報告事項
1 株式会社ホテルプラザ勝川の経営状況について
- 福祉教育委員会（8月20日）
報告事項
1 第一希望の家の再整備について
2 社会福祉法人春日井市社会福祉協議会の経営状況について
3 令和7年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について
- 環境建設委員会（8月21日）
協議事項
1 公共交通整備に係る要望活動について
報告事項
1 電池類の収集方法の変更について
2 JR高蔵寺駅周辺再整備について
3 下水道事業受益者負担金について

令和7年第4回定例会中に行われた委員会・分科会は、次のとおりでした。

- 予算・決算委員会（9月9日、9月22日）
- 市民経済委員会・分科会（9月11日）
- 福祉教育委員会・分科会（9月12日）
- 環境建設委員会・分科会（9月5日、9月16日）
- 総務委員会・分科会（9月17日）

令和7年第5回定例会予定

- ▽11月27日(木) 10:00～ 本会議（提案理由説明）
- ▽12月 1日(月) 10:00～ 本会議（質疑、委員会付託）
（本会議終了後） 予算・決算委員会前期全体会
- ▽12月 3日(水) 9:00～ 市民経済委員会・分科会
- ▽12月 4日(木) 9:00～ 福祉教育委員会・分科会
- ▽12月 5日(金) 9:00～ 環境建設委員会・分科会
- ▽12月 8日(月) 9:00～ 総務委員会・分科会
- ▽12月10日(水) 10:00～ 予算・決算委員会後期全体会
- ▽12月11日(木) 10:00～ 本会議（一般質問）
- ▽12月12日(金) 10:00～ 本会議（一般質問）
- ▽12月16日(火) 10:00～ 本会議（採決）

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

表紙写真募集

募集する写真

応募者が、春日井市内において概ね1年以内に撮影した未発表のもの。

応募締切

2月発行第137号の表紙写真を11月26日まで受付しています。

応募に関する詳細は、春日井市議会ホームページをご覧ください。
なお、編集の都合により、公募写真以外の内容が表紙になる場合があります。



■視覚障がいのある方に、本紙を音読した「声のかすがい市議会だより」（カセットテープ又はCD）を郵送します。事前に登録が必要ですので、ご希望の方はご連絡ください。

